

平成30年産 紀南の梅産地情報

18/05/22

1. 小梅・古城は5月中旬から出荷が始まり、現在ピークとなっている。南高は早場では5月下旬から収穫が始まり、ピークは6月6日の梅の日頃からを予想している。



2. 5月18日の定点調査では、南高の着果数は前年より多く、平年並みであった。在来系の着果数は前年より少なく、平年並みであった。

定点調査の着果数（枝径2センチの枝当たり）と着果率

品 種	平成30年				平成29年		平年（10年間）	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
南 高	10.6%	33 果	127%	106%	10.9%	26 果	10.3%	31 果
在来系	7.8%	30 果	64%	94%	13.1%	47 果	11.5%	32 果

3. 5月18日時点の南高の実肥りは、29.9mmと前年・平年並みとなっている。
4. 5月21日梅部会まとめの生産予想量は、小梅1,006トン（前年比125%、平年比115%）、古城636トン（前年比117%、平年比92%）、南高21,748トン（前年比123%、平年比97%）、在来系551トン（前年比118%、平年比98%）を見込んでいる。
生産量は今後の気象等により変動することがある。
5. 結実後の気温は、5月以降は平年と比べ低くなっている。降水量は、5月上旬は平年より多く、5月中旬は平年より少なくなっている。

月 旬	平均気温 ℃				降水量 mm			
	30年	29年	28年	平年	30年	29年	28年	平年
4月下旬	17.6	16.0	17.5	16.2	42.0	10.0	68.5	49.1
5月上旬	17.5	19.2	19.4	18.5	196.5	23.0	126.0	62.5
5月中旬	19.6	19.3	19.7	19.0	36.5	45.5	36.5	57.7

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）